

## 卒業式 祝辞

ご紹介いただきました、青高同窓会 外苑会会長の長久保でございます。同窓会を代表いたしまして、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

78期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席の保護者の皆様には心よりお祝い申し上げます。また、これまで親身にご指導いただきました、永森校長ならびに教職員の皆様には、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、皆さんはマスクの手放せない中学生生活から青高に進んだこの3年間、どのような日々を過ごしたでしょうか。今日の皆さんの表情を拝見していると、それぞれの目標に全力で取り組んできた成長のあと、そして青高生らしく三兎を追い求めた充実感がはっきりと感じ取れます。

この間、世の中もめまぐるしく、急速な変化が続いています。とりわけ、DXの進展は生活全般に大きな変化をもたらしています。2007年または2008年の早生まれのみなさんは、2007年誕生の iPhone と同い年。物心のついたときにはふつうにスマホがある環境で育ってきました。

勉強においても辞書を引く代わりに「検索」をしない日はないでしょうし、検索すればすぐになんらかの答えが届く時代に生きているのが現実です。「チャッピーに相談する」というフレーズが示すように、ChatGPTに代表される生成AIの活用が日々の生活の中にも浸透しています。私も使っていますし、皆さんも同様かと思えます。

この生成AIの回答、こちらの思いをおもんばかりのように耳障りのいい親しげな言葉がまず、最初に返ってきます。その流れで、自然と相手=AIの文脈に導かれていくような感覚、ありませんか。AIの得意とするアルゴリズムの心地よさは鵜呑みにしないことが賢明ではないでしょうか。

皆さんは大学進学を足がかりにさらに大きな夢の実現へ、さまざまな学びと経験を重ねて成長を遂げていくわけですが、人生の問いに正解はありません。楽しいこと、辛いことがないまぜになったスリリングな道なき道の連続です。行く先の見える道ばかりではありません。右に行くのか、左にまがるのか。あるいは立ち止まるのか。その時々で自らを問い、決断をしていく、その繰り返しこそが生きるということ、人生そのものです。

いま世界は大きな転換点、重大な岐路に立たされています。超大国が「力」を背景に、ルールや良識を無視し、国際秩序を破壊しつつあります。これまで以上に正解のない問いに向き合わなければなりません。それに加えて、どこまで進化しても人間とはイコールではない生成 AI とうまく共生していくことも避けられません。

そこには「人々は人間社会の「絆＝ネットワーク」をこれからも守れるのか？」という大きなテーマが横たわっています。

この点について、気鋭の歴史学者、哲学者ユヴァル・ノア・ハラリが著書『NEXUS 情報の人類史』のなかで、情報をキーワードに歴史を紐解きながら生成 AI との向き合い方、将来への示唆を与えてくれます。おすすめの一冊です。手に取ってみてください。

これからも、AI には任せられない、人間にしかできないことは、何か。それは「決断」という行為だと私は考えたい。そのための学びを続けることの大切さをこの年になって改めて痛感しています。自らが研鑽を重ねるのはもとより、人から学び、仲間と学ぶこと、社会から学ぶことも大切です。社会との絆＝ネットワークがあってこそその人生です。青高で出会った仲間たちとの交流、いつまでも続けてほしいと切に願っています。

私ども同窓会では、卒業生相互の親睦を図る事業、在校生の教育活動支援事業の2つを事業の柱として活動を展開しております。2019年にはその活動を持続可能で透明性の高いものにするべく、法人化を実現、会の名称についても「外苑会」と改めました。

現在、住所を把握できている同窓生は15,000人ほどに上ります。例年、総会・懇親会を開き、大勢の皆さんに親睦を深めていただいているほか、卒業生を講師にした交流会の開催や、同期会の開催支援、会報誌の発行など、様々な活動を行っております。在校生支援のひとつとしては、奨学金の給付制度を創設し、新年度で開始から10年目を迎えます。

皆さんも、今日からは、その同窓生の一員です。昨日、説明があったと思いますが、若手の同窓生に親しみを持っていただくことを目的に、卒業間もない大学生に **Youth Team** として活動に加わってもらい、運営を担っていただいています。世代を繋ぎ、一緒に青高を、同窓生を盛り上げていきましょう。

青高でよかったとな、と思うことは「絆」です。この年になっても、同級生はもちろん、先輩方や後輩たちと今も続く交流です。シンプルに「青高」という共通項だけで続く強い絆は、人生の宝物です。どうか、青高で出会った仲間

との絆=ネットワークをこれからも大切にしてください。

結びに、卒業生の皆様のご活躍、ご臨席の皆様のご健勝をまた、青高のますますの発展をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。  
本日はまことにおめでとうございます。

2026年（令和8年）3月14日

一般財団法人外苑会  
会長 長久保由治